

平成28年度～令和元年

宵田・元町地域まちなか再生協議会



『カバンストリート』とは？

- 宵田商店街の愛称（商標登録）
- 商店街の活性化を目的に地場産業“カバン”をテーマに平成16年スタート
- 『新がんばる商店街77選』に選定2007年
- 平成20年度に兵庫DCの一環で、カバンバス、カバンベンチ、カバンポストなどを設置。

● カバン専門店

『カバンステーション』『ARTPHRE』『アトリエNUU』『オルターエゴ』
『THE PLAN』『カバンツクリエーション』

● カバンサテライト

『かさ舎』『かばん工房』『兼先宝飾』『FluxK』『トヨミ』『サルード&こうじゆ舎』『泉屋書店』
『レッドウッド』『但馬信用金庫』『キヌガワクリーニング』『但馬銀行』
『まんかつ』『MATSUYAMA』



宵田商店街

- 3但一の商店街
- 豊岡ー古い商店街
- アーケード組合
- サンバカーニバル
- サンクス商店街1992?
宵田カラー舗装
豊田石畳、アーチ2
本
- シャッター商店街
- 少子高齢、限界集落
- 郊外店に顧客を・・・！
- 後継者が・・・！
- 国道312号線の通過地
観光渋滞(城崎温泉)

三匹の侍立ち上がる

- 三匹のバカ侍



- 商店街活性化はまちづくり
- 下地はここから？
平成10年11月29日(日)
年忘れ談話会
『みんなで描こう、宵田の明日』
- “YYクラブ”で若いメンバー巻き込む→“YYGG”
- 独自商品の開発
- 独自の販売ルートの開拓
- 商店主の欲を引き出す

三匹の侍の挑戦(H16/17)

H16年度

- 7月24日 【職人植村美千男のかばん工房】オープン
- 3月 【カバンサテライト】オープン
- 3月21日 【カバンステーション】開店
- 【365バーステート・他オリジナルバッグ発表】、西山塾作品展

H17年度

- 5月8日 《カバンストリート頑張る！大助・花子漫才&トークショー『笑って商売繁盛』》
《365バーステート発売》
- 6月 【但馬信用金庫ウィンドウにて365トート展示】
- 6/18~26 【ヤマネカズエ「花と少女」描画展】@カバステ
- 7/1~31 【竹田安雄代オブジェバッグ展】@カバステ
- 7月24日 《WINDS OF GOD 〜雫のかたへ〜》今井雅之さんに「小さな旅の物語（植村美千男作）」進呈
- 8月 【コウノトリグラフィック募集】【パンフレット製作・配布】
- 8/4~8 《鞆協会全国技術創作コンクール（豊岡鞆協会協力）》@カバステ
- 8/13~19 《ジャパンブランドIFF作品展（豊岡商工会議所協力）》@カバステ
- 8月30日 《城崎温泉ゆかたdeモードにて『カバンストリートPR』》
- 9月3日 【夏の終わりの夕涼み音楽会】@カバステ 20時より
- 9月23日 【コウノトリグラフィックトート】発表、
【青田いっぶく堂】開店、マッ・ヂ・マッ「マッ・マッ」&神田翔神の「占い」
- 10月8日 《コウノトリグラフィックトートPR『風流流し』アコースティックライブ》、
コウノトリ放鳥を記念した新曲「TAKE OFF」披露、FMジャングル生放送他、6カ所ライブ
- 10月 【ネットショップオープン】
- 12月 【パンフレットPART2製作・配布】コウノトリの郷公園、城崎温泉、観光協会等
- 12月3日 【カバンストリートのクリスマス】、【サテライトオリジナルグラフィックトート発表】【X'mas限定365トート発表】
イルミネーション点灯式（MWBPとのコラボレーションイベント）、フリーマーケット、お振舞い（おでん、ぜんざい、甘酒）
、アウトレットショップ、屋台村、プロモーションビデオ上映等
- 12/17~18 振舞い（おでん、ぜんざい、甘酒）、アウトレットショップ、屋台村、アコースティックライブ等
- 12月23日 《歴史勉強会「青田とその周辺の成り立ち」》講師：瀬戸谷皓氏、青田いっぶく堂にて
- 3/21 【カバンストリート1周年イベント】
【スクリーミング・マッド・ジョージDESIGN「奇神」】発表
【おみやげトート他サンプルバッグ】発表
【広告塔事業】「カバンの自販機」設置
カバステカフェにてお振舞い。



三匹の侍の挑戦(H18)

H18年度
 4/1・2 【このとり感謝祭】いっぷく堂にて「総合高校生によるまちづくり発表会」
 4月 「鞆の力」、「関西じゃらん」に掲載、「ニッポンNAVI」内閣府政府広報番組で放映
 5月7日 【ランドセルは海を超えて】JOICF家族計画国際協力財団への協力
 7月 【湯めぐりバッグ】企画スタート。関西じゃらん3号連載
 7月20日 テリ「おとなの夜市」「スクリーミング・マッド・ジョージの世界展」「星空カフェ」「星空
 7月21日 【ARTPHERE】オープン
 7月27日 「スクリーミング・マッド・ジョージ“奇神”発表トークショー」など、
 中貝豊岡市長をスクリーミング・マッド・ジョージと表敬訪問
 8月 東急ハンズ三ノ宮店に“鞆の自販機”設置、
 のじきく兵庫国体「花いっぱい運動」
 8/27・28 【CABAN STREET BAGS 2006】六本木アークシス「JIDA Design Museum」にて、
 谷公一衆議院議員が訪問。「日刊工業新聞」掲載。日本商工会議所HP紹介。取材多数
 8月29日 経済産業省を表敬訪問
 10/4~10 【カバンストリート&このとり展】阪急百貨店神戸店、
 【湯めぐりバッグ】発売
 10月14日 日本大学文理学部学生によるアンケート調査に協力
 10月16日 eoホームファイバーTV取材、「旅の手帖」取材、
 大阪大学大学院生まちづくり研究調査に協力
 11月 「鞆スタイル」ワールドフォトプレス、「BAGAZIN」、
 「日経流通新聞」湯めぐりバッグ掲載
 11月9日 兵庫県議会議員団によるカバンストリート視察研修
 11/11・12 「但馬まるごと感動市」に出店、ミニバッグ作り体験教室
 11月20日 近畿経済産業局によるヒヤリング
 12月 毎日放送「VOICE」、サンTVにて放映
 「関西ウォーカー25号、1 DAYドライブ」掲載、豊岡総合高校、エンタメ取材
 イルミネーション点灯式（MWBPとのコラボレーションイベント）
 12月2日 民主党岡田元代表視察、昼食会
 12月13日 フジTV「目覚ましTV」放映
 12月15日 近畿経済産業局ワークショップ、視察
 12/23・24 クリスマスライブ カバステ（12/23）、いっぷく堂（12/24）
 11月7日 関西TV「旅っきり」
 2/22・23 「ものづくり展」インテックス大阪
 3月13日 兵庫県まちづくり連携活性化賞受賞
 3月21日 カバンストリート2周年イベント
 3月22日 このとり本舗に自販機出店
 3月27日 近畿経済産業局 中心市街地活性化フォーラムにて講演



三匹の侍の挑戦(H19)

H19年度

4月 商店街連合会春祭り 協力

5月 北但大震災の記憶展（於：由利三ウィンドウ、中尾康彦氏協力）

6月 神戸北野クラブSOLA真円真珠100年記念パーティ出展

城崎温泉「ゆかた祭り」出店

11月 「但馬まるごと感動市」出店、ミニバッグ作り体験

教室、菅総務大臣が鞆の自販機視察(こうのとりの郷公園)

12月9日 イルミネーション点灯（～1/16）

大阪モード学園ショーウィンドウ展示

12月22日 カバステdeクリスマスイベント

12月23日 ワイワイガヤガヤクラブ

1月19日 まちごとカバンミュージアム正副会議

「近代建築」中尾康彦さん講師

2月9日 日本テレビ「世界一受けたい授業」にてカバンの自販機放映

2月17日 山本かなえ経済産業大臣政務官がカバスト視察、とど兵で意見交換

2月27日 出石・篠山視察（中心商店街販路拡大集客増進委員会）

2月29日 まちごとカバンミュージアム正副会議

「建築とまちづくり」岡田哲史さん講師

3月4日 GLOBAL BUSINESS PROJECT(GBP)

小田部先生（テンブル大学）佐藤先生（関学）視察打ち合わせ

3月6日 テレビ朝日取材「ナニコレ珍百景」(4/9放映)

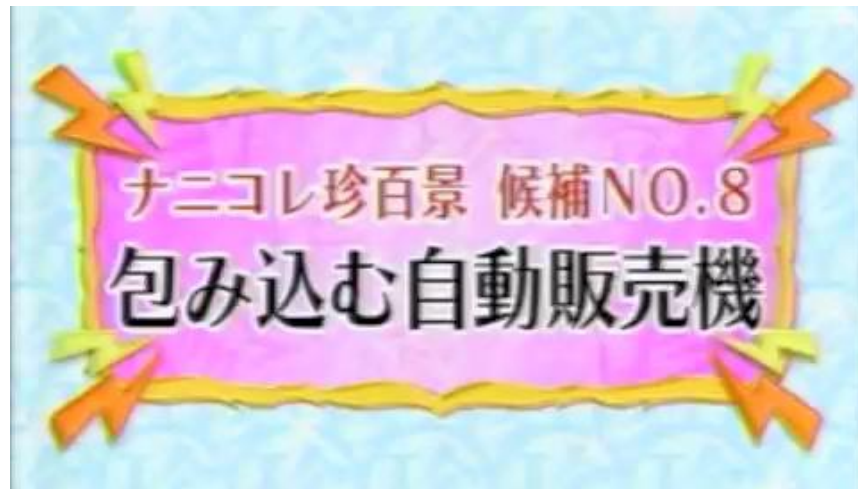
3月16日 GLOBAL BUSINESS PROJECT(GBP)

第1回ネット会議

3月21日 FMジャングルにて生放送でカバンストリート紹介、

まちごとカバンミュージアム実行委員会設立総会

カバンストリート3周年



豊岡まちごとカバンミュージアム事業 説明書

「愛の心で人を愛する」が基本の愛の態度を

1. 産業観光の場をエコミュージアムの概念で整備

産業観光は、観光立国行動計画で「産業に関する施設や技術等の資源を利用、地域内外の人々の交流を図る観光」と定義されています。旧来型の観光と異なるものは、ものづくりの現場を訪れ、見学や体験を通じて人とふれあい、知的好奇心を満たすという点です。

巨大な建物や豪華な展示がなければいけないということはありません。小さくてもきちんとした意匠づけが効く、ものづくりの仕込みや歴史、現場の様子を伝えることができれば、魅力ある施設になります。そのために、エコミュージアムという概念が活用できます。簡単に言うところ城址まごころ博物館に見立てて仕込みです。

私たちは、将来のために今できることを確実に別にしていきたいと思います。そのために、まずは現在のウェブサイトを一新して整備し、歩合会に波及させたいと考えています。ただ、ウェブサイトの「まちごあたりニュービザム」の集客効果・関係性となって、量面がかわってパフォーマンスのまちとして高い仕切り力や商品力を誇っていることを紹介するとともに、商品を示し、購入して頂く機会として整備していくことを希望しております。

01383-27 AUG

相模屋敷を陣取圖に見立て、文化・自然・風土・歴史・生活様式などの環境（エコ）に関する資源を保存活用。市町村長やその助けた人が常駐監視態に立つて「守る」ことでまちの発展の持続性・豊かさを、自然環境や産業・観光資源などの地域資源を活用する例が数多い。地域の個性や資源を目標や手段に活かして活用している。

豊岡市おむすびおばんショージアムズのイメージ



◎書写本の本文やマージンのまちとして印刷し、246人組のまちのバリエーション、まちの商業施設や印刷します。

ひまも会館にフットボール・コート、動物アース・デック等があるため、人々憩遊することも可能です。

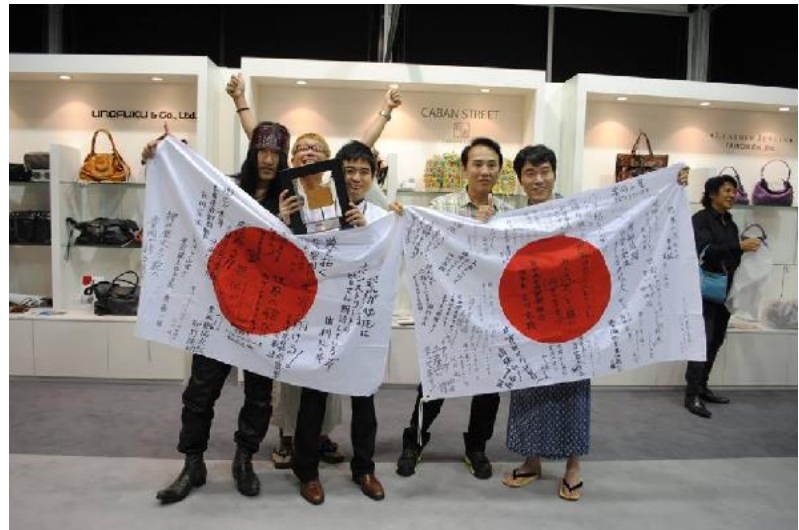
心療内科の院長のフリップトップスニアをかた、ストーム
に同席することも可能です。

心疾患と心の健康に関する地域の方にも啓蒙策を行い、身近な存在に作り上げます。

[illegible]

MIPEL出展

- 平成24年9月
- 世界最大の鞆・靴の見本市
- 前年に由利佳一郎氏がグランプリ受賞。カバンストリートとしての出展を提案。

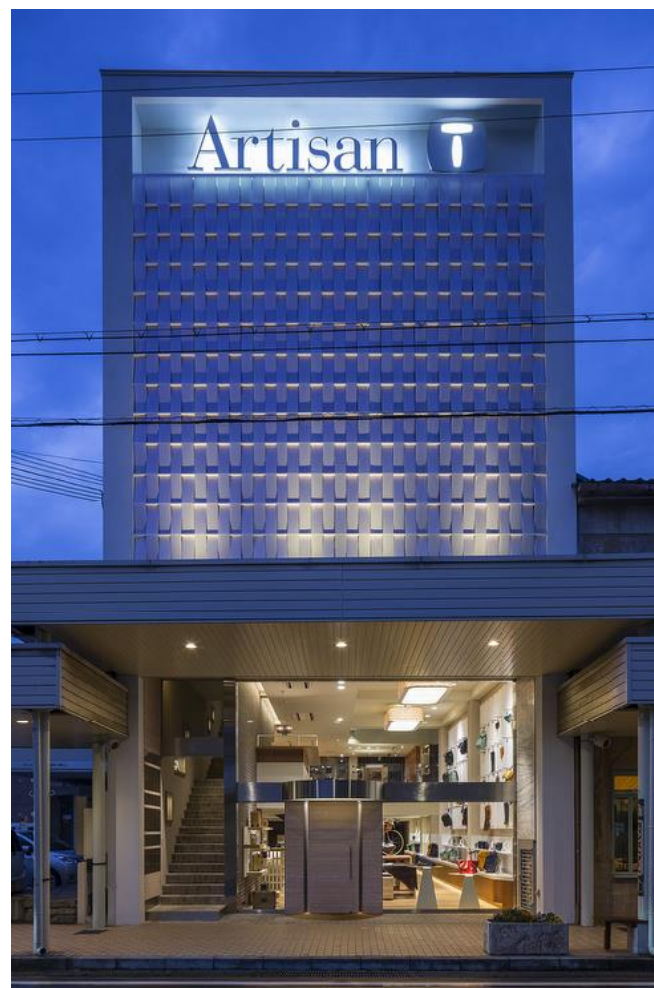


カバンアルチザンアベニュー

- H25年4月オープン

豊岡まちづくり会社による物件買い上げ

- 兵庫県鞆卸商組合・兵庫県鞆工業組合・豊岡鞆協会 による新規事業。
- 1F・中2F アルチザンオリジナルブランド、組合員企業のオリジナルブランド販売
- 2F 工具・部材の販売
- 3F アルチザンスクール（年間10名程度）



新規出店



パシフィック・エー・エー



ザ・プラン



オルター・エゴ



イマ・カフェ

カバストファッションショー

- 2012.12.25 第一回開催
- 2013.8.2 柳まつり
- 2014年 アルチザン前



カバストファッションショー

- 2017年は天神橋筋商店街アイドル『TEN6』とコラボ、音楽とダンスでノリノリ♪



地域の問題点（気にしていること）

外来者・観光客の
満足度を高めたい

にぎわいを
高めたい

かばん店は
さらに増えてほしい

高齢化の加速が
心配

子供たちの
未来に不安

地域の問題点（気にしていること）

外来者・観光客の
満足度を高めたい

にぎわいを
高めたい

かばん店は
さらに増えてほしい

高齢化の加速が
心配

子供たちの
未来に不安

環境

- ・サインが未整備
- ・観光地としての景観改善は未着手
- ・駐車場がわかりにくい
- ・元町まで延伸したい

店舗状況

- ・カフェが欲しい
- ・飲食店が不足

観光客集客はあるが
満足度が低いと感じる

地域の取組みは継続中
だが改善進化したい

開業希望者は存在
しているが店舗がない

空き家不足

カバストマルシェ

柳祭り・大石りくまつり

問題点

カバストマルシェの
運営は疲労が
担い手の重複と固定化
マルシェ出店者は
潜在だが場所が不足
集客力の低下

独居高齢者の増加
車歩道段差が危険
路面が滑りやすい

若年層に
もっと住んでほしい

保育制度の改正で
保育が受けられない
環境に

地域の問題点（気にしていること）

外来者・観光客の満足度を高めたい

にぎわいを高めたい

かばん店はさらに増えてほしい

環境のこと

高齢者の加速が

子供たちの未来に不安

環境

- ・サインが未整備
- ・観光地としての景観改善は未着手
- ・駐車場がわかりにくい
- ・元町まで延伸したい

店舗状況

- ・カフェが欲しい
- ・飲食店が不足

観光客集客はあるが満足度が低いと感じる

地域の取組みは継続中だが改善進化したい

カバストマルシェ

柳祭り・大石りくまつり

問題点

カバストマルシェの運営は疲労が
担い手の重複と固定化
マルシェ出店者は潜在だが場所が不足
集客力の低下

開業希望者は存在しているが店舗がない

空き家不足

既存住宅の住替え促進

高齢者の増加
車歩道段差が危険
路面が滑りやすい

若年層にもっと住んでほしい

住みたくなる環境づくり

- ・子育てが安心
- ・子育てが便利
- ・素敵な環境
- ・素敵な住宅

保育制度の改正で保育が受けられない環境に

景観・環境改善が必要

地域の問題点（気にしていること）

外来者・観光客の満足度を高めたい

にぎわいを高めたい

かばん店はさらに増えてほしい

環境のこと

高齢者の加速が

子供たちの未来に不安

環境

- ・サインが未整備
- ・観光地としての景観改善は未着手
- ・駐車場がわかりにくい
- ・元町まで延伸したい

店舗状況

- ・カフェが欲しい
- ・飲食店が不足

観光客集客はあるが満足度が低いと感じる

地域の取組みは継続中だが改善進化したい

カバストマルシェ

柳祭り・大石りくまつり

問題点

カバストマルシェの運営は疲労が
担い手の重複と固定化
マルシェ出店者は潜在だが場所が不足
集客力の低下

開業希望者は存在しているが店舗がない

空き家不足

既存住宅の住替え促進

補助事業などの可能性を今後検討

高齢者の増加
車歩道段差が危険
路面が滑りやすい

若年層にもっと住んでほしい

住みたくなる環境づくり

- ・子育てが安心
- ・子育てが便利
- ・素敵な環境
- ・素敵な住宅

保育制度の改正で保育が受けられない環境に

リノベーションの勉強会を地元で実施

景観・環境改善が必要

次年度以降に検討

A

「豊岡中心地区まちづくり構想」のアクションプランとして地元から提案

地域の問題点（気にしていること）

外来者・観光客の
満足度を高めたい

にぎわいを
高めたい

かばん店は
さらに増えてほしい

高齢化の加速が
心配

子供たちの
未来に不安

環境

- ・サインが未整備
- ・観光地としての景観改善は未着手
- ・駐車場がわかりにくい
- ・元町まで延伸したい

店舗状況

- ・カフェが欲しい
- ・飲食店が不足

観光客集客はあるが
満足度が低いと感じる

地域の取組みは継続中
だが改善進化したい

開業希望者は存在
しているが店舗がない

空き家不足

カバストマルシェ

柳祭り・大石りくまつり

問題点

カバストマルシェの
運営は疲労が
担い手の重複と固定化
マルシェ出店者は
潜在だが場所が不足
集客力の低下

B 社会実験として
今後の方向性を検討

独居高齢者の増加
車歩道段差が危険
路面が滑りやすい

若年層に
もっと住んでほしい

保育制度の改正で
保育が受けられない
環境に

地域の問題点（気にしていること）

外来者・観光客の満足度を高めたい

にぎわいを高めたい

かばん店はさらに増えてほしい

高齢化の加速が心配

子供たちの未来に不安

環境

- ・サインが未整備
- ・観光地としての景観改善は未着手
- ・駐車場がわかりにくい
- ・元町まで延伸したい

店舗状況

- ・カフェが欲しい
- ・飲食店が不足

観光客集客はあるが満足度が低いと感じる

地域の取組みは継続中だが改善進化したい

開業希望者は存在しているが店舗がない

空き家不足

カバストマルシェ

柳祭り・大石りくまつり

問題点

カバストマルシェの運営は疲労が
担い手の重複と固定化
マルシェ出店者は潜在だが場所が不足
集客力の低下

独居高齢者の増加
車歩道段差が危険
路面が滑りやすい

若年層に
もっと住んでほしい

保育制度の改正で
保育が受けられない
環境に

地域の問題点（気にしていること）

人のこと

外来者・観光客の満足度を高めたい

にぎわいを高めたい

かばん店さらに増やしたい

高齢化の加速が心配

子供たちの未来に不安

環境

- ・サインが未整備
- ・観光地としての景観改善は未着手
- ・駐車場がわかりにくい
- ・元町まで延伸したい

店舗状況

- ・カフェが欲しい
- ・飲食店が不足

景観・環境改善が必要

観光客集客はあるが満足度が低いと感じる

地域の取組みは継続中だが改善進化した

カバストマルシェ

柳祭り・大石りくまつり

問題点

カバストマルシェの運営は疲労が
担い手の重複と固定化
マルシェ出店者は潜在だが場所が不足
集客力の低下

開業希望者は存在しているが店舗がない

空き家不足

既存住宅の住替え促進

独居高齢者の増加
車歩道段差が危険
路面が滑りやすい

若年層にもっと住んでほしい

住みたくなる環境づくり

- ・子育てが安心
- ・子育てが便利
- ・素敵な環境
- ・素敵な住宅

保育制度の改正で保育が受けられない環境に

保育施設問題の解決

地域の民間事業者で着手

地域の問題点（気にしていること）

人のこと

外来者・観光客の満足度を高めたい

にぎわいを高めたい

かばんださらに増やしたい

高齢化の加速が心配

子供たちの未来に不安

環境

- ・サインが未整備
- ・観光地としての景観改善は未着手
- ・駐車場がわかりにくい
- ・元町まで延伸したい

店舗状況

- ・カフェが欲しい
- ・飲食店が不足

景観・環境改善が必要

観光客集客はあるが満足度が低いと感じる

地域の取組みは継続中だが改善進化したい

カバストマルシェ

柳祭り・大石りくまつり

問題点

カバストマルシェの運営は疲労が
担い手の重複と固定化
マルシェ出店者は潜在だが場所が不足
集客力の低下

開業希望者は存在しているが店舗がない

空き家不足

独居高齢者の増加
車歩道段差が危険
路面が滑りやすい

若年層にもっと住んでほしい

保育制度の改正で保育が受けられない環境に

既存住宅の住替え促進

補助事業などの可能性を今後検討

住みたくなる環境づくり

- ・子育てが安心
- ・子育てが便利
- ・素敵な環境
- ・素敵な住宅

保育施設問題の解決

地域の民間事業者で着手

C

「市街地コミュニティ構想」
として地元から提案
(住替え促進×高齢者サポート×子育て支援)

地域の問題点（気にしていること）

外来者・観光客の満足度を高めたい

にぎわいを高めたい

かばん店はさらに増えてほしい

高齢化の加速が心配

子供たちの未来に不安

環境

- ・サインが未整備
- ・観光地としての景観改善は未着手
- ・駐車場がわかりにくい
- ・元町まで延伸したい

店舗状況

- ・カフェが欲しい
- ・飲食店が不足

観光客集客はあるが満足度が低いと感じる

地域の取組みは継続中だが改善進化したい

カバストマルシェ

柳祭り・大石りくまつり

問題点

カバストマルシェの運営は疲労が
担い手の重複と固定化
マルシェ出店者は潜在だが場所が不足
集客力の低下

開業希望者は存在しているが店舗がない

空き家不足

独居高齢者の増加
車歩道段差が危険
路面が滑りやすい

若年層にもっと住んでほしい

保育制度の改正で保育が受けられない環境に

既存住宅の住替え促進

補助事業などの可能性を今後検討

住みたくなる環境づくり

- ・子育てが安心
- ・子育てが便利
- ・素敵な環境
- ・素敵な住宅

保育施設問題の解決

地域の民間事業者で着手

リノベーションの勉強会を地元で実施

景観・環境改善が必要

次年度以降に検討

B 社会実験として今後の方向性を検討

A 「豊岡中心地区まちづくり構想」のアクションプランとして地元から提案

C 「市街地コミュニティ構想」
として地元から提案
(住替え促進×高齢者サポート×子育て支援)

外来者・観光客の満足度が高まる

にぎわいが高まる

かばん店がさらに増える

高齢者が安心して住めるまち

子供たちの明るい未来

地域の問題点（気にしていること）





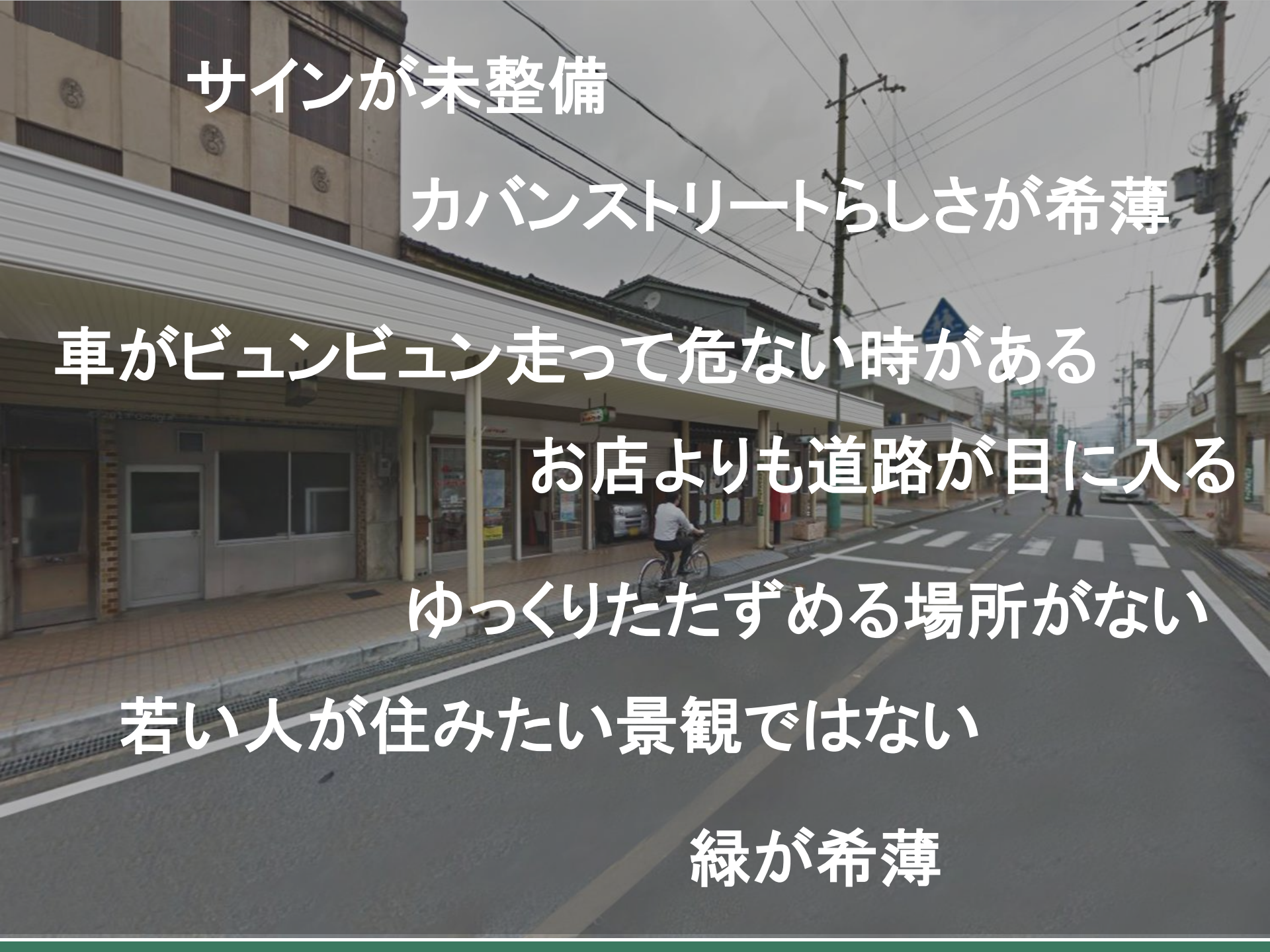
「豊岡中心地区まちづくり構想」の
アクションプランとして地元から提案

景観整備について



現 状



A photograph of a street scene in Japan. On the left is a multi-story building with a light-colored facade and dark window frames. A person is riding a bicycle on the road in the foreground. The road has white lane markings and a crosswalk. In the background, there are more buildings and utility poles with wires. The sky is overcast.

サインが未整備

カバンストリートらしさが希薄

車がビュンビュン走って危ない時がある

お店よりも道路が目に入る

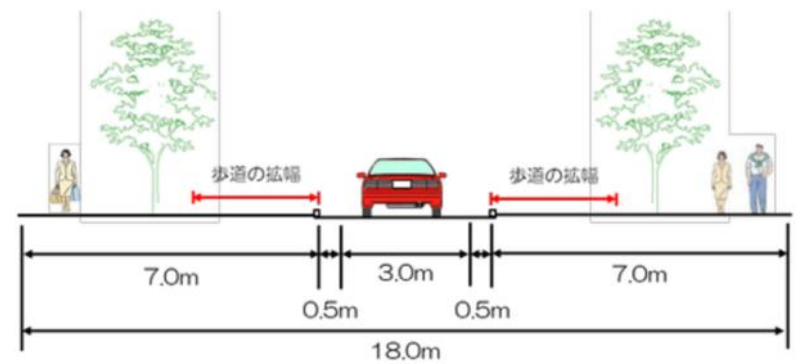
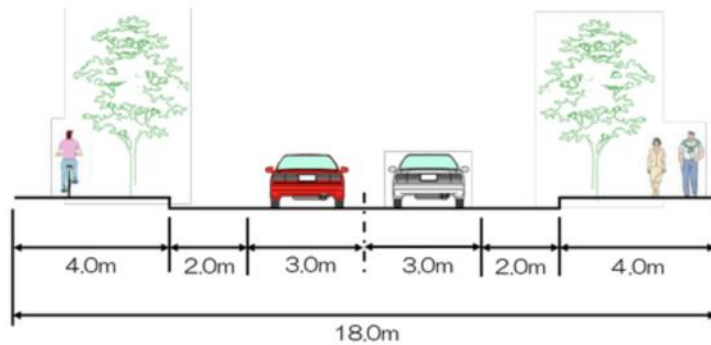
ゆっくりたたずめる場所がない

若い人が住みたい景観ではない

緑が希薄

景観・環境改善の成功事例

①神戸三宮 葺合南54号線／兵庫県神戸市



景観・環境改善の成功事例

①神戸三宮 葺合南54号線／兵庫県神戸市



■ 今後の活用

- 新たに生まれた道路空間を用いて、地域イベントの開催
(KOBE JAZZ FESTIVAL、三宮バルが既に開催済)
- 地域と協働の元、花壇の整備や飾花
- 道路愛称の募集



景観・環境改善の成功事例

③ あつみ温泉／山形県鶴岡市

【整備内容】

- 平成17年～20年に整備
- 車道の一車線化、電線類の地中化
- 一車線化することで新たにできた空間を活用し足湯の整備
- 歩道の美装化
- 道路付属物（照明塔）の修景

BEFORE



AFTER



カバストでの景観整備について

景観整備の目標

- ・ 安心安全で、魅力的なまちづくりへの挑戦！

景観整備の目標

- ・ 安心安全で、魅力的なまちづくりへの挑戦！



具体案

- ① カバストマルシェの時のように、車がビュンビュン走らない、皆が安心して過ごせる素敵な通りにする。

〈全面通行止め〉 OR 〈一方通行〉

※さまざまな問題は全てクリアしていくものとします。

- ② カバストらしい、ここならではの景色をつくる。

例：「カバン」モチーフだらけのストリート



*本パースは『一方通行』のイメージです。デザインは、整備が決まった際に改めて行われます。

例：「カバン」モチーフだらけのストリート



*本パースは『一方通行』のイメージです。デザインは、整備が決まった際に改めて行われます。

「カバン」モチーフの例

■ カバンマークの parasol



■ 背もたれがカバンの椅子



■ カバンの柵



■ カバンストリートのストリート名パネル



例：SNS映えする、わかりやすいアイコンがある。



*本パースは『一方通行』のイメージです。デザインは、整備が決まった際に改めて行われます。

SNS映え



twitterや instagram, facebook等のSNS上に写真を投稿した際に目立ち、評価されること。
写真映りの良いこと。

SNS映えの例。カバストにも、既にベンチや自動販売機など、SNS映えするものが存在する。



一方通行化を選択した場合の、整備案イメージ例



一方通行化を選択した場合の、整備案イメージ例



B

社会実験として
今後の方向性を検討

CABAN STREET
**カバスト
マルシェ
PREMIUM**

年3回の開催とし、内容やしくみを改善。
デザインコードを導入し印象を一新する。
地域の人も楽しく
観光客も来たくなるようなマルシェを目指す。

■事業の見直し

1.実施目的の明確化

日常的なにぎわいづくりを目的にスタートしたカバストマルシェを、増加傾向の観光客の満足度を高め、近隣住民を含めた外来者の「目的地＝わざわざ行きたくなる・勧めたくなる」イベントに進化させるための方策を探る。

2.スケジュールの見直し

毎月開催から、集中力のある開催に変更。

⇒3月・7月・10月 の年3回を想定し、第1回を2016年3月に実施する。

3.名称の見直し（案）

年3回の実施に伴い特別感を出すため

『カバストマルシェ・プレミアム』などとする

4.運営体制の見直し（案）

①実行委員会を組織し直し、企画推進チーフ制を導入する。

企画推進チーフは、3月チーフ・7月チーフ・10月チーフを年度初めに決定し、各人は年1回の集中した企画を行う。

②外来出展者のみとせず、地元有志によるテーマに即した独自性のある物販やオリジナルの食材販売にチャレンジするため運営サポーター（学生含む）を募集し、将来の組織化を探る。

5.デザインコードの導入（案）

①屋台デザインの見直し

軽四タイプを廃止し、正方形テントとデザイン屋台による実施。
テントは主催者準備。デザイン屋台の場合は審査後使用可とする。
（社会実験時は主催者準備品（別途資料参照）を使用）
車両の場合は、審査を行い配置計画に工夫する。

②三角カバン柄フラッグ・カバン柄パラソルなどにぎわい感の出る装飾を取り入れ、それらは主催者管理とする。

③物販には店舗名ボードなど、主催者側でデザインコントロールをある程度実施する。

6.販売品の見直し（案）

①かばんの販売

靴事業者に趣旨説明を再度実施し、B級品や型落ち品の継続的な販売可能性を探る。（林氏と協議）

②飲食

②-1 カバンにちなんだ食品の販売

②-2 旧知の出展者とは協議の上、パッケージなどに工夫し独自性を出す。

②-3 豊岡ならではの料理や食材を強化する。

③物販（次回協議）



■社会実験での配置計画案

テント



フラッグアイコン



テーブル&チェア (IKEA)



一方通行化の社会実験



植栽導入の実験



デザインカート





「市街地コミュニティ構想」
として地元から提案

(住替え促進×高齢者サポート×子育て支援)

まちなか複合拠点の提案



人のこと

現在、多くの地方10万人未満の地域では、
メインであったはずの商店街は、シャッター街に変貌し、
多くのヒト・モノ・カネ・情報、様々な問題が起こっている。
まず、高齢者の独居化、中心地の空洞化、空き家（民家）、テナ
ント物件の不足など。

特に高齢者にとってはお金や住宅を保有していても
どんどん街の中（歩行圏内）から生活に必要な人・モノが
消えている。

市街地の経済が活性するために同時並行に進めなければ
地域経済の活性は望めないのではないか？

1) 現状の課題

- 年を重ねても（医・食・住）の観点から安心して住まえることが難しくなってきた
- 世代の偏り
- 空き家、空き店舗不足
- スモールビジネス起業に伴う支援の不足
- 地域に住んでいる人々が住みにくい街形成
- 教育力（地域力）の低下

2) 街中複合拠点の必要性

- 歳を取っても安心して住まえる場所づくり（現在の介護、医療の新たな仕組み化）
- 大規模展開ではなく、すべてを小規模化する（コンパクト）
- 独居の方に家をお借りし不動産の有効利用とリンクさせる（不動産保全）
- 施設ではなく、家を提案（施設に追いやるのではなく、住替え）
- 地方都市では、ほとんど入院施設がなく、また短期間で退院に追い込まれるため、入院をサポートできる場所の確保→（看護型多機能）
- 多世代が集うことが地域では難しくなっている。
各世代それぞれのハードで大規模的に行われているがいろいろなものがコンパクトに向かう→小規模型保育園（転用もしやすい）など、
を組み合わせで幼児から高齢者が無理なく住まえる家（多世代街中コミュニティ）の構築を提案。
- それぞれの役割を創造する
- 老々介護の充実、創出
- アクティブシニア向けお手軽なお仕事提案等

3) 街中複合拠点の展開イメージ

多世代×長屋×在宅看護 医食住をひとつに

<構想コミュニティ MACHINAGAYA >構成

5F	賃貸マンション	10室 母子家庭等サポート 想定 レストラン等
4F	高齢者住宅	13室 市街地独居の方々 街中からの移住促進
3F	高齢者住宅	13室 市街地独居の方々 街中からの移住促進 要介護でも安心して住まえる住居（医療サポート）
2F	看護型多機能 訪問看護ステーション	8床 入院に近い機能を有する。3F、同階にレスパイトケアできる場所を創設 銭湯
1F	小規模保育園 学童保育（塾機能含）	19名定員 A型又はB型 全年齢対応型になれば・・・ 面積規模によっては、学童併設もあり 商店？

※レスパイトケアとは、乳幼児や障害者、高齢者など要介護者を在宅でケアしている家族の精神的疲労を軽減するため、一時的にケアの代替を行うサービスのことをいう。元々は欧米で生まれた考え方であり、地域支援サービスの一つとして広まった。

4) 構築にあたってのメリット

- ①大きな規模展開の必要がない。（コスト削減）
- ②フロアの転用がしやすい（時代に合ったものを入れ替える）
- ③医療機関（医師確保）は難しいが、それに近いサポートが可能、コストダウン。
- ④高齢者の方にコミュニティの中で少しでも役割を担って頂く（仕事の創出）
- ⑤母子家庭等（経済的弱者）の救済ではなく、役割を担って頂くことが可能
- ⑥各フロアの方々に戦略的にちょっとずつお手伝いを頂き、
結果的に多世代コミュニティ創生
- ⑦多世代が集い疑似家族化される（実際、実証済 ※23年度モデル事業）
- ⑧ここを拠点に保育園のお迎え、食事、訪問などたくさんの通行、往来が生まれ、
賑わいを創造
- ⑨大手スーパーではなく。地元商店街等との取引を行うことにより、
商店の安定収入確保、商店の再興につながる
- ⑩小規模化により市街地に点在可能（普及モデル）
縦向き（ビル）、横向き（商店）をリフォームでの構築も可能
- ⑪雇用の創出 働きながら住める、預けることが可能。

5) 構築にあたっての課題

- ①小規模保育、看護型多機能は、地域の枠設定があり、行政との調整が難しい
- ②行政との調整（各内容による担当の違い）
縦・横の調整に関するトータルコーディネーター
- ③運営主体等の設定
- ④中心スタッフの確保

1F 小規模保育園



160~200㎡ 有資格者による保育。
本施設に入居もしくは来訪する高齢者との交流をイメージした動線計画

1F エントランスホール・食堂（物販）



銭湯と対になるにぎわい施設。入居者と外来者が利用

1F 2F 銭湯（温泉）



入居者のみならず、
近隣居住者も利用
できる核となる
集客機能施設。

生活に必要とされる各種支援
やサービスをコンパクトに
1か所集積した施設
温泉や食堂などの快適機能も
複合させることによって
多様な世代が住まい・集う
拠点を狙います



2F 看護小規模多機能型居宅介護事業所

8室（レスパイトケア可能）



2F 訪問看護ステーション

看護師などスタッフ15~20名程度



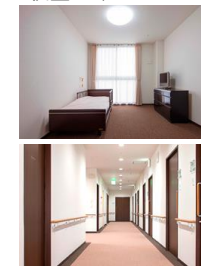
3F 高齢者住宅（医療サポート）

個室13室 とコミュニティリビング



4F 5F バリアフリー住宅

個室13戸



6F 7F 賃貸住宅

個室10戸



本施設の機能を必要とする
シングルマザーや医療サービスを
必要とする人を想定した
小規模住宅。40㎡程度

5. 他地域での取り組み例

B's・行善寺

【所在地】石川県白山市

【概要】

・社会福祉法人佛子園の本部、クリニック、スポーツジム、
乳児保育園を含む複合施設「B's」
・飲食施設を併設する入浴施設「三草二木 行善寺」
・住民が自由に使えるフリースペースやカフェ
・周辺には障害児が暮らすグループホームやサービス付き
高齢者向け住宅、病院がある。



6. なぜまちなかに複合施設が有効なのか

- ・高齢者の方々に、移転を促すにあたり、魅力のある施設とは、孤独でなく同系の人の集まりでなく、様々な人の交流がある“まちなか”に近い施設です。
- ・今の家から近い住み慣れたエリアの中にある安心感
- ・医療介護等が充実していることで、本人もご家族も安心
- ・子供たちと高齢者との日々の交流、送り迎えの方々と、毎日顔を合わせるコミュニティが生まれ、更に、高齢者から子供、健康者も交流できる施設もできれば更にみんな住みたい、安心、楽しい施設となり、今この地域に必要な施設と考えます。

豊岡市市中心部・福祉施設マップ

